



まいしゅう きんようび、タウヒードのしるしであるアザーンがミナレットからひびきわたると、マスジドへかけつけるしんあいなるきょうだい、しまいのみなさま、ジュムア・ムバーラク！ アッラー (swt) のへいあんともめぐみ、そしてじひがぜんいんのうえにありますように。

しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

ぜんこのアッラー (swt) は、あるしよくにおいてつげておられます。「しんじるものたちよ。しゅうかいのひにれいはいのよびごえをきいたときは、アッラーをおもいおこすことにいそぎ、とりひきからはなれなさい。そのほうがあなたがたのためによい、もしあなたがたがしてさえいたなら。」¹ ここからあきらかなとおり、きんようれいはいがファルドであるひとにとり、アザーンがとなえられたあとにおこなわれるとりひきやしゅうえきはハラールではありません。そう、げんだいのわたしたちにとりもっともたいせつなぎむとは、やってきたことすべてをわきにおいて、きんようれいはいのためにマスジドにあつまることです。それはよろこびとこうふくをもってしゅ (swt) のめいれいにしたがることで、ぶっつてきな、あるいはれいてきなふじゅんぶつからみずからをきよめることです。となりあうどうほうをふかにさせることなく、かたとかたとをきれいにならべてたつことです。

しんあいなるムスリムのみなさま！

わたしたちのよげんしゃ (saw) は、あるハディースのなかでつぎのきつぽうをしらせています。「きんようびには、(それとふさわしい) いっくがある。ムスリムがれいはいによってそれをすごし、アッラーになにかをもとめたなら、アッラーはまちがいなくそのもとめにおうじてくださる。」² また、べつのハディースでは、あいするよげんしゃ (saw) はわたしたちに、「あやまってさんど、ジュムアをみすごしたもののところに、アッラーはふうをしたまう」³ ともけいこくしてあります。これらのハディースにあるきつぽうやけいこくの、なんとすばらしいことでしょうか。このきつぽう、このけいこくをしるしんこうしゃが、どうしてきんようれいはいをあえてけいしすることができるでしょうか。

しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

ホトバなくしてきんようれいはいをかたることはできません。れいはいとおなじく、ホトバはアッラー (swt) をおもいおこすことです。ホトバにはさほうがあります。ミンバルにたつせつきょうしゃのはなしをちゅういぶかくきくこともそのなかにふくまれています。ホトバのさいちゅうにはおしゃべりをしないこともとめられます。また、けいたいでんわなどをいじったりすべきではありません。アッラーのしと (saw) は、ホトバのさいちゅうにまもるべきさほうについて、「きんようび、イマームがホトバをかたるあいだに、そのばにいるものにしづかにするようたのんだとしても、じっさいにはむだぐちをきいたことになる」⁴ とけいこくしてあります。

しんあいなるムスリムのみなさま！

きんようのしゅくふく、よろこび、ぶっつてき・せいしんてきな おんけいがうしなわれることのないようにしましょう。きんようれいはいを、ひにごかいのれいはいのちょうてんとしましょう。「そしておもいおこさせなさい。おもいおこすことは、しんこうしゃのえきとなる。」⁵ というみことばにみみをかたむけ、たがいにきんようれいはいをおもいおこしあいましょう。わかものやこどもにはあいとやさしさをもって、こちよくマスジドへでかけられるようながしましょう。ろうにやくなんによそろってアッラー (swt) のいえへといそぎましょう。

¹ Jumu'ah, 62/9.

² Tirmidhi, Jumu'ah, 2.

³ Ibn Majah, Iqamat, 93.

⁴ Muslim, Jumu'ah, 11.

⁵ Dhariyat, 51/55.